



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

8

No.564



まちひと百景

苫前鱗萃会が最優秀賞を受賞

7月26日(土)・27日(日)に第5回北海道風車まつりと同時開催された第9回YOSAKOIソーラン祭 北北海道支部大会inとままえにおいて、苫前鱗萃会がみごと最優秀賞に輝いた。
最優秀賞の受賞は、今回が2度目。一昨年の豊富大会で初受賞。

- 第5回北海道風車まつり…2
- 町内神社祭…3
- 高齢者ゲートボール交歓競技大会…4
- 農業委員が決定…5
- 地域社会貢献事業、文芸…6
- まなびの情報…7
- 健康情報…8
- 住まいる情報…10
- YOSAKOIギャラリー…12

まちの人口

人口/3,841人 (男/1,805人 : 女/2,036人)
世帯数/1,685世帯 (7月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

第5回北海道風車まつり & 第9回YOSAKOIソーラン祭 北・北海道支部大会 in ともまえ

今年で5回目となる北海道風車まつりは、第9回YOSAKOIソーラン祭り北北海道支部大会とあわせて開催されたこともあり、7月26日（土）に前夜祭が、7月27日（日）にはともまえ夕陽ヶ丘未来港公園と古丹別大通の区間で実施され、両日併せて約7200人の来場者を集めて無事終了した。

26日（土）の前夜祭は肌寒い中、15チームが熱い踊りを披露した。27日（日）はYOSAKOIソーラン祭り北北海道支部大会の審査が行われることもあり、苫前鱗萃会を含む北北海道支部に所属する9チームは力の入った演舞を披露した。また、招待チームとして新琴似天舞龍神、北海道大学縁、JAL極楽とんぼなどYOSAKOIソーラン祭りにおいて上位を占めたチームの演舞に会場も魅了されていた。

この他、よさこいの合間に開催された陸上自衛隊留萌駐屯地

音楽隊の演奏や江差追分世界チャンピオンの香澄さんのステージも花を添えたほか、大型ふわふわ遊具やネイルアート体験には子供たちが列を作るほど人気を集めていた。特産品直売所や味の屋台村では、メロンや鮮魚などの海の幸山の幸が低価で販売されにぎわっていた。また、港では「ゆりかもめ」によるポートウォッチングを楽しんでいる来場者も見受けられた。

一方、古丹別会場でも古丹別大通のまさ亭前から花井商店前までを通行止めとし、各チームの演舞が行われた。古丹別を会場としたイベントの開催がなかったこともあり、沿道には多くの住民が集まった。

YOSAKOIソーラン祭り北北海道大会の審査では、地元苫前鱗萃会と北鼓童なよろの2チームに絞られ、再演舞の結果、苫前鱗萃会が2年ぶり2回目の最優秀賞を受賞した。



祭りの熱気 最高潮!!

お祭りが集中している7月は、町中が祭り一色！
祭りが来ると夏本番！



第43回 苦商祭

7月19日(土)
20日(日)

テーマ「八重咲き」

苦前商業高等学校（金濱茂校長91名）で学校祭が開催された。初日には、校舎前に各学年とPTAによる模擬店が所狭しと軒を連ね、豊富なメニューで来場者を魅了した。

野外ステージでは、カラオケなど各学年が趣向を凝らしたイベントで盛り上がりを見せていた。



高齢者ゲートボール 交歓競技大会



六月二十七日(金)留萌支庁地区老人クラブ連合会主催の「第二十六回留萌支庁地区高齢者ゲートボール交歓競技大会」が、苫前ゲートボール場で行われた。絶好のゲートボール日和となったこの日は、苫前の二チームを含め、各予選を勝ち抜いた十六チームが出場し、四ブロック総当たりで勝敗を競い合った。苫前から出場した「苫前すずらん」と「平成会」の両チームは、日頃の練習で鍛え上げた腕前を發揮したが、惜しくも優勝を逃した。成績は次のとおり。優勝 増毛B・準優勝 増毛A・三位 苫前すずらん(金田武、鎌田信夫、大矢根輝美、山本八ナ子、貝野テル工、真鍋一安、石川一好)・四位 平成会(太田市郎、千葉トミ、丹羽君江、福士和江、新庄和子、加藤早智子)

職場実習



苫前商業高等学校(金濱茂校長全校生九十一名)の二年生二十六人は、六月二十三日から二十七日までの五日間、役場やさまざまな温泉ふわつと、町内各商店で職場実習を行った。これは、勤労体験学習を通じて、あいさつや言葉遣いなどの対応の基本や望ましい職業観・勤労観を学ぶことを目的に例年行われている。役場の企画振興課の配属となつた山口直也くんは、「ペンキ塗りまでしているとは思わなかつたけど、書類の編さんやパス停のトイレ掃除の点検まで、幅広く体験できて良かった。」と話し、総務財政課に配属になつた瀬波えりかさんは、「職員の皆様によく教えてもらい、少し慣れました。このような仕事は好きです。」と実習の感想を話していた。二人とも進路志望のひとつに公務員を考えている。

風力発電推進市町村全国協議会の会長に森町長が再任



七月二十二日(火)に東京都内で開催された風力発電推進市町村全国協議会の総会で、会長に森利男苫前町長が再任された。任期は二年。この協議会は、山形県旧立川町で風力発電の推進のため、平成八年七月に設立され今年で十二年目を迎える。加盟市町村は全国から五十九市町村。その中でも苫前町は早くから風力発電を建設し、現在も順調に運転を続けている。最近では、ガソリンなど資源の高騰が社会問題となつているが、その反面、風力発電を初めとするクリーンエネルギーの導入は進んでいる。会長就任の挨拶で森町長は、風力発電の諸課題は山積しているが、関連団体などと連携を密にして、低炭素社会の実現に向け「風力発電の推進に尽くしたい」と抱負を述べた。

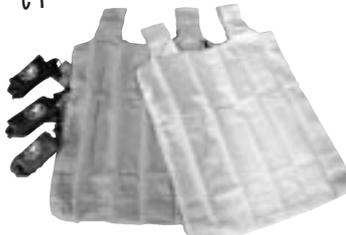
オロロンふるさと塾 自転車ツーリング



七月二十八日(月)に道立厚岸少年自然の家を出発したオロロンふるさと塾自転車ツーリング(早川日出利同実行委員長)が、八月三日(日)の午後、参加した子供たち十七名全員が羽幌町総合体育館へゴールした。厚岸町から羽幌町までの約五百十五kmを、七泊八日の日程で走破する内容で、途中には美幌峠など、いくつかの難関がある。七回目となつた今回は、苫前町からの参加者は、斉藤ななみさん(古小五年)と成田汐里さん(古小五年)の二人で、「友だちがたくさんできた。美幌峠を登つたことが印象に残った。何でも最後までできるように頑張りたいです。」と完走した抱負を語つた。

エコバッグを 製作しました

苫前商業部会(五十嵐勉部会長)では、三作目となる新作の「エコバッグ」を製作した。この新作バージョンの「エコバッグ」は、一作目、二作目の利用者からいろいろの意見を出してもらい改善したもの。持ち運びに便利なように小型、軽量化の携帯型で、好みに合わせて赤、青、白、緑、オレンジ色がある。五十嵐部会長は「環境への配慮、ごみの減量等に配慮して、エコバッグを作成しました。町内商業部会各商店に備えてありますので、ご自由にお使い下さい。」と話していた。



8月 町税の納期

今月は、**町道民税**
国民健康保険料
介護保険料
の納入月です。
納期内納入にご協力願います。

新しい農業委員が決定しました

当選委員に証書、推せん委員に辞令が交付

苦前町農業委員会選挙が七月一日告示され、一般選挙の定員である八名の届出があり、七日に開かれた選挙会において、届出者をもって無投票による当選が決まった。当選者には内田靖生町選挙管理委員長より当選証書が手渡された。

委員を代表し永田紀男氏から「厳しい農業情勢の中、身の引き締まる思いです。食の安全が危

に大川博文氏を選出し、小委員会委員に永田紀男氏、大川博文氏、花井幸重氏、丹羽秀夫氏、村本隆氏の五名を選出した。今回退任された委員は、鴨田國一氏（三期・一般選挙）、上田博和氏（二期・一般選挙）、清水英雄氏（四期・一般選挙）の三名で、初総会の開催前に森町長から感謝状と記念品が贈られ、これまでの長きにわたる功績を讃えられた。

退任された委員の皆様、大変ご苦労様でした。



花井幸重 (57) 九重
(一般選挙・3期目・小委員会委員)



丹羽秀夫 (55) 長島
(改良区推せん・2期目・小委員会委員)



前川忠雄 (43) 香川
(一般選挙・1期目)



松原幸博 (54) 九重
(共済推せん・2期目)



柴田敏文 (50) 九重
(一般選挙・1期目)



鈴木均 (56) 古丹別
(一般選挙・4期目)



大川博文 (52) 三溪
(一般選挙・5期目・職務代理者)



大矢根正春 (69) 古丹別
(議会議推せん・2期目)



堀豊昭 (52) 長島
(一般選挙・1期目)



村本隆 (55) 昭和
(農協推せん・2期目・小委員会委員)



鈴木健明 (63) 岩見
(一般選挙・3期目)



永田紀男 (66) 旭
(一般選挙・7期目・会長)

7/17 ふわっとでプロレス

アジアンプロレスが興行

とままえ温泉ふわっとで、アジアンプロレスリング（畠中浩旭代表）が興行された。レスラーたちは、リング場外で子供たちと戯れながら試合を進め、大技が決まると観客から大きな拍手や歓声が沸き起こっていた。



7/28 表敬訪問

古丹別中学校卓球部



古丹別中学校（板谷中学校）の卓球部が中体連卓球全道大会出場を目前に控え、役場を訪れ、伊藤教育長に抱負と決意を述べた。

7/25 成人講座

フラワーアレンジメント

夕方七時より公民館で行われた成人講座「フラワーアレンジメント」に十三名が挑戦した。庭から一本、夏のお花でテーブルに添えてみませんか？をキヤッチフレーズに、安藤麻里（社）日本フラワーデザイナー協会（一級）の指導を受けながら、参加者は素敵なフラワーアレンジメントを仕上げていた。



風力発電の売電状況

（町営風来望3基分）

20年度の実績 9,988,309円
(H20.3～H20.7)

平成20年7月分の実績

・供給電力量 73,810kWh
926,130円
(昨年実績 864,020円)

危険遊具の撤去作業

苫前建設協会



七月七日(月) 苫前建設協会が、古丹別小学校のブランコ二基、すべり台一基、苫前小学校のブランコ一基の撤去作業を行った。
これは、経年劣化により腐食が進み危険と判断され、使用できなくなっていた遊具を、地域社会貢献事業の一環として撤去処理したものだ。
児童のけがが危惧されていたこともあり、事故が起こる前に撤去していただき、ありがとうございました。

駐車場区画線の補修を実施

苫前建設協会



七月八日(火) 苫前建設協会が、地域社会貢献事業の一環として、苫前町役場庁舎の南側駐車場区画線の補修作業を行った。
これは、経年劣化に伴い区画線の白線が消えかかっており、駐車区分が分からず不便であったが、維持管理にあたっては大変苦慮していたものだ。
当日は、厳しい暑さをもとめせず、三名の職員は慣れた手つきで次々と白線を引いていた。ありがとうございました。

風車まつりへの支援

堀松建設工業(株)



七月十七日(木) から二十七日(日)にかけて、堀松建設工業株(堀松一郎代表取締役社長)が第五回北海道風車まつりの支援を行った。
十七日は、会場となる未来港公園緑地帯の草刈り作業を行った。
二十六日からの風車まつりには、発電機三基、照明灯二基の貸与と警備員五名を派遣していただいた。
お陰様で風車まつりが盛会に終了することができました。ありがとうございました。

「文芸」 苫前町文芸を語る会

(短歌)

仕組まれて生かされている遺伝子よ季節と先取るハウスの蜜柑
虚無と言ふ言葉の数値ゼロなりし命も人も不気味に変わる
千の風庭のもみじを揺すぶりに病葉いらり臨終の舞
標的に粗われ知るや大輪の木ぼたんの花いらひらと散る
風薫る朝に突然妹の袂立ちゆきは黄泉の国なり
語るごとクレマチスの咲くをみて逝きし妹偲ぶるる日々
遠くとも身近に想ふ娘の声が受話器を持つ手に熱く伝はる
なつかしき演歌を聞き胸あつく滲む涙は昭和の女

(俳句)

利尻峰 葉月の雲を 押しつづく 古丹別 桑 風
毛越寺 夢の名残や 夏嵐
祭り笛 過疎をいれどる 踊り山 古丹別 林 千代美
海開き 祝詞の声も 波が呑み (文責・大矢根)

川柳

医療費の 次は出番の 消費税 古丹別 運上 酔狂
換気孔 無断雀の 親子位み 苦 前 小島 信子
鉢巻きを キリリ奮闘 孫走る 苦 前 斎数 範章
三日振り 休肝明けの 酒の味 苦 前 関 武
一坪の ミニ菜園に 貰う幸 (文責・鎌田 信夫)